

2	法定	自主
	○	

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 2 日

横浜市長

殿



提出者

住 所 横浜市鶴見区駒岡4丁目20番21号

氏 名 (株)坂本茂商店 代表取締役 坂本一幸

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 045-571-1566

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(株)坂本茂商店 坂本生コン	自主管理事業登録番号	(2361)
事業場の所在地	横浜市鶴見区獅子ヶ谷2丁目38番32号	TEL(連絡先):	045-573-6061
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日 (1 年間)		
当該事業場に関する事項			
① 事業の種類	E21-窯業・土石製品製造業 (具体的には) 生コンクリート製造販売		
② 事業の規模 ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	940 百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	百万円
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)		
③ 従業員数	24		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程 ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	現場で使用されずに持ち帰った残こん、戻りこん処理、またミキサー車及びプラントの洗浄等で排出したスラッジ水(汚泥水)を、脱水処理し、発生した脱水ケーキを乾燥後、コンクリート及び陶磁器くずとして再生利用業者に全量処理を委託。また、残こん、戻りこんの処理で発生した回収骨材は、がれき類として再生利用業者に全量処理を委託。		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ①統括者(代表取締役)→技術管理者(中間処理コース)→技術係・・・マニフェスト発行→運搬依頼(原口陸運)→最終処理及び再生利用(関戸商事 せぎどエコプラント津久井)
- ②統括者(代表取締役)→技術管理者(中間処理コース)→技術係・・・マニフェスト発行→運搬依頼(港建物産)→最終処理及び再生利用(港建物産リサイクルセンター)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和 6 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類数	2 種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。
	① 排出量	4,350.0 t	
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【(令和 7 年度)目標】		
	産業廃棄物の種類数	2 種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。
	① 排出量	3,000.0 t	
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度(令和 6 年度)実績】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業 廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら 再生利用量は、別紙のと おり。
	(これまでに実施した取組)			
② 計画	【(令和 7 年度)目標】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃 棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら 再生利用量は、別紙のと おり。
	(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度(令和 6 年度)実績】			
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)			
② 計画	【(令和 7 年度)目標】			
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和 6 年度)実績】			
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)			
② 計画	【(令和 7 年度)目標】			
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和 6 年度)実績】			
	⑩ 全処理委託量	4,350.0	t	* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	4,350.0	t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	
	(これまでに実施した取組)			

		【(令和 7 年度)目標】		
② 計画	⑩ 全処理委託量	3,000.0	t	* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	3,000.0	t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0	t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	t	
	(今後実施する予定の取組)			
※ 事務処理欄				

2-1	法定	自主
-----	----	----

碑 塚場名称: (株)坂本茂商店 坂本生口

別紙一 括表

事業場名称：(株)坂本茂商店 坂本生コン

	ア	イ	ウ	エ	オ アルカリ	カ 廃プラスチック	キ 紙くず	ク 木くず	ケ 緑くず	コ 動植物性 残渣	サ 動物系 固形不変物	シ ゴムくず	ス 金属くず	セ ガラス、コンクリート、陶磁器くず	ソ 鉱さい	タ がれき類	チ 動物の ふん尿	ツ 動物の 死体	テ ばいじん	ト 混合廃棄物 その他	(単位:トン)
	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸																	合計
① 排出量														2,500.0		1,850.0					4,350.0
令 ②+⑧ 自ら再生利用を行った量														0		0					0
和 ⑤ 自ら燃回収を行った量														0		0					0
6 ⑦ 自ら中間処理により減量した量														0		0					0
年 ③+⑤ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量														0		0					0
度 ⑩ 全処理委託量														2,500.0		1,850.0					4,350.0
実 ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量														0		0					0
績 ⑫ 再生利用業者への処理委託量														2,500.0		1,850.0					4,350.0
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量														0		0					0
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量														0		0					0
① 当該事業場における排出量														2,000.0		1,000.0					3,000.0
※1 自社の他事業場からの搬入量																					
② 自ら直接再生利用する量																					
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量																					
④ 自ら中間処理する量																					
⑤ ④のうち熱回収を行う量																					
※2 自社の他事業場での処理量																					
⑥ 自ら中間処理後の残さ量																					
⑦ 自ら中間処理により減量する量																					
A 自己処理量																					
a ⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量																					
⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量																					
※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量																					
b 自ら中間処理後の処理委託量																					
b-1 中間処理委託量																					
再生利用前委託量																					
最終処分前委託量																					
下水等放流前委託量																					
b-2 最終処分委託量																					
B 直接処理委託量														2,000.0		1,000.0					3,000.0
B-1 中間処理委託量														2,000.0		1,000.0					3,000.0
再生利用前委託量														2,000.0		1,000.0					3,000.0
最終処分前委託量																					
下水等放流前委託量																					
B-2 最終処分委託量																					
直接及び自ら中間処理後の処理委託量														2,000.0		1,000.0					3,000.0
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量																					
⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量														2,000.0		1,000.0					3,000.0
⑬ ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量																					
⑭ ⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																					

令和7年度目標

産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称：(株)坂本茂商店 坂本生コン

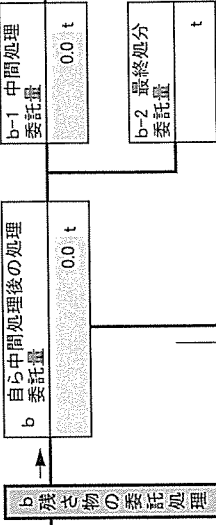
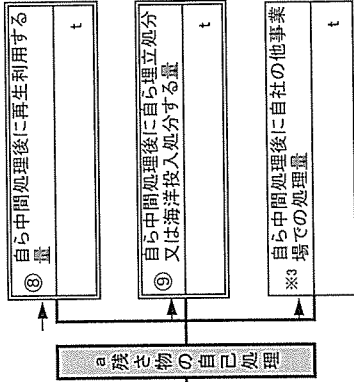
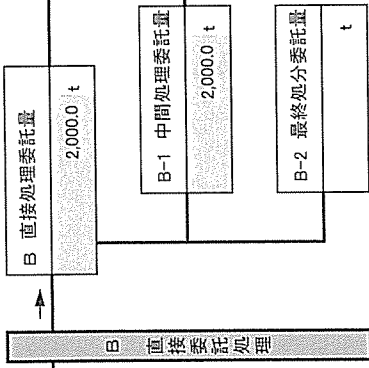
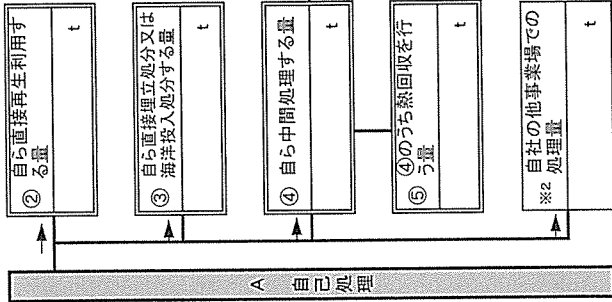
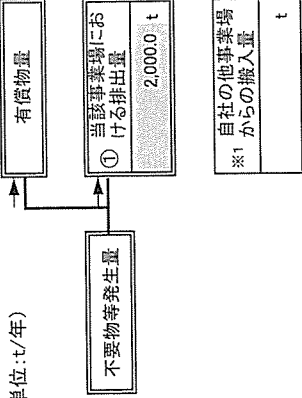
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類
セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



(目的別内訳)	
再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

項目	令和6年度実績
① 排出量	2,500.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	2,500.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	2,500.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	2,000.0 t
⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量	t
⑩のうち認定熱回収業者以外の処理委託量	t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動植物性残さ
 - サ. 動物系固形不要物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

産業廃棄物処理計画書

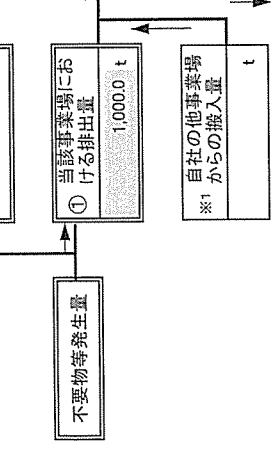
事業場名称：(株)坂本産商店 坂本生コン

別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

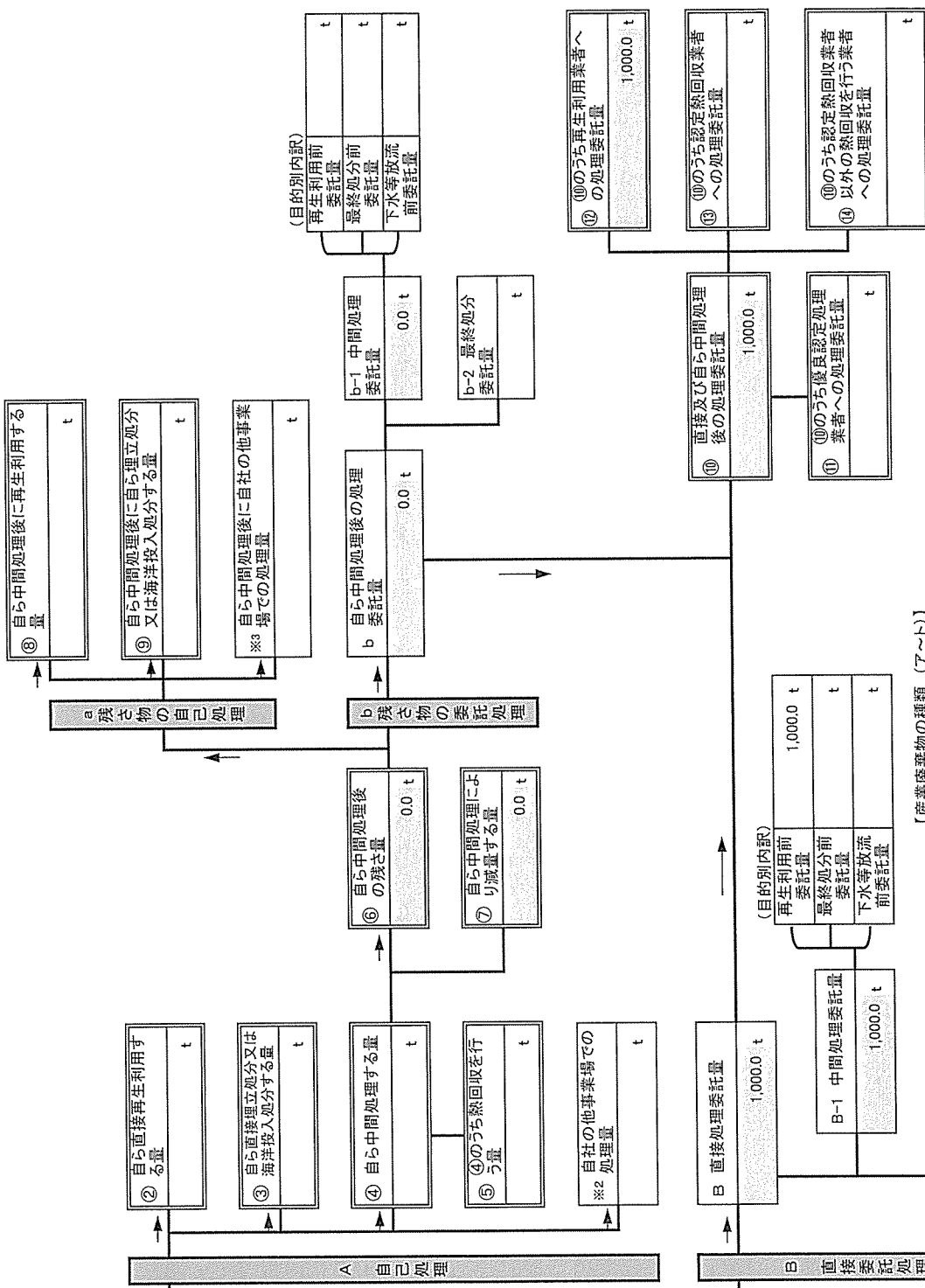
フローに記載した産業廃棄物の種類 汚、がれき類
※ 未用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注)右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとともに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	1,850.0 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	1,850.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,850.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 繊維くず
 - ケ. 機械くず
 - コ. 動植物性残さ
 - サ. 動物系固形不要物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他